

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 212

エントリー学校名：
 青森県 三沢市立第三中学校

活動名：危機管理意識の向上
 服務に関する課題解決と教頭の役割

解決すべき課題：学校運営は、災害、学校事故、感染症、情報漏洩など、様々な危機と隣り合わせである。法的な枠組みに従って、校内組織の確立や危機管理マニュアル等、計画の整備が必要であると同時に、それらの機能を効果的に発揮するために、教職員の危機管理意識を高め、主体的・協働的に行動できる対応力の育成もまた、学校の危機管理において重要である。そこで、教職員の危機管理意識の向上と対応力育成を目指した安全教育の在り方と、それを効果的に実施するための教頭の役割を明らかにする。

目標・方針：【教職員の危機管理意識の向上と対応力を育成するための教頭の役割】

- (1) 担当者がやりがいと自信をもって事業を計画・運営するための支援
- (2) 担当者がやりがいと自信をもって全教職員を動かすための支援
- (3) 担当者と外部組織・外部人材とをつなげる役割

活動内容：

- (1) 校内研修「防災セミナー」に実施
- (2) 「小・中連携教育推進会議」の開催
- (3) 「小・合同避難訓練事前指導」防災プログラムⅠ～Ⅲの実施
- (4) 「小・中合同避難訓練」の実施
- (5) 教職員意識調査「学校安全アンケート」の実施と変容分析

活動の成果：教職員意識調査「学校安全アンケート」結果（大幅な意識向上が見られた項目の抜粋）

設問		4	3	2	1
1 安全点検は、事故防止や避難行動のことを考えて毎月行っている。	7月	36%	55%	9%	-
	9月	46%	54%	0%	-
	変容	+10	-1	-9	-
2 担当の活動や行事を企画する際、実施要項に安全対策を盛り込んでいる。	7月	11%	56%	22%	11%
	9月	27%	55%	18%	0%
	変容	+16	-1	-4	-11
3 「防災計画」を理解し、非常時にはその場に応じて行動することができる。	7月	18%	82%	-	-
	9月	58%	42%	-	-
	変容	+40	-40	-	-
4 いざという時、周囲の職員に進んで声をかけるなど、対応のための要請を速やかに行うことができる。	7月	45%	55%	-	-
	9月	58%	42%	-	-
	変容	+13	-13	-	-
5 普段から、保護者や地域の方々とのコミュニケーションを行い、よりよい関係づくりに努めている。	7月	18%	64%	18%	-
	9月	25%	58%	17%	-
	変容	+7	-6	-1	-

アピールポイント（アイデアや工夫）：

- 全教職員参加型の外部講師による研修により、組織への所属感及び安全確保への責任感を高めた。
- 地域を含めた小・中合同避難訓練の実施により、教職員及び生徒の「自助」「共助」の意識を高めた。
- 避難訓練実施計画において、役割分担の名前を記載しないことにより、事前に他の教職員と確認したり、当日現場で判断したり、相談したりして行動することができた。その成功体験が、非常時における対応への自信につながる事ができた。

1 主題設定の理由

学校の危機
 災害・事故・感染症・情報漏洩

↑

計画の整備
組織の確立
危機管理マニュアル

↑

資質・能力の育成
危機管理意識
対応力

2 研究のねらい

三沢市立第三中学校

本校の特色

1 道徳教育
2 防災教育 → 小中合同
3 小中連携教育 → 避難訓練

4 研究の概要

(1)校内研修「防災セミナー」

TUNAMIからどうやって避難するのか
津波ハザードマップ
揺れやすさマップ

【資質・能力】
A 危機状況の理解

4 研究の概要

(1)校内研修「防災セミナー」

校内危険箇所の共有

【資質・能力】
A 危機状況の理解

4 研究の概要

(1)校内研修「防災セミナー」

解決策を各自で検討
共有

【資質・能力】
B 回避行動の理解
C 判断力・行動力

4 研究の概要

(1)校内研修「防災セミナー」

担当者への支援 【教頭の役割】

1 担当者と研修内容の検討
2 外部講師と研修内容の検討

【資質・能力】
A 危機状況の理解
B 回避行動の理解

4 研究の概要

(2)「小中合同避難訓練」計画の全体共有

○自助・共助
○地域を知る
○その場で判断して行動

【資質・能力】
A 危機状況の理解
B 回避行動の理解

4 研究の概要

(2)「小中合同避難訓練」計画の全体共有

担当者への支援 【教頭の役割】

1 小学校担当者と中学校担当者をつなげる機会の設定
2 小・中共有の場の設定
3 小学校教頭との連絡

【資質・能力】
A 危機状況の理解
B 回避行動の理解

4 研究の概要

(3)小・中合同避難訓練事前指導

住んでいる地域の避難経路を考えさせる。

【資質・能力】
A 危機状況の理解
B 回避行動の理解
C 判断力・行動力

4 研究の概要

(3)小・中合同避難訓練事前指導

【教頭の役割】

1 担当者が全教職員を動かすための支援
2 地域コーディネーターへの協力要請
3 市防災管理課への相談

【資質・能力】
A 危機状況の理解
B 回避行動の理解
C 判断力・行動力

4 研究の概要

(3)「小中合同避難訓練」実施

【内容】

① 学校から斗南溝道の駅までの避難経路を小学生と中学生が協力して歩く。
② 避難場所で、保護者への引き渡し訓練を行う。

4 研究の概要

(3)「小中合同避難訓練」実施

【対応力を育成するための工夫】

① 小学校との合同訓練により、相互理解・協力協働して避難することを体験する。
② 実施計画に役割分担を示さないことにより、自ら考え、判断し、行動することを体験する。
(避難場面・移動場面・保護者引渡し場面)

【資質・能力】
B 回避行動の理解
C 判断力・行動力

4 研究の概要

(3)「小中合同避難訓練」実施

【教頭の役割】

1 担当者が全教職員を動かすための支援
2 地域コーディネーターへの協力要請
3 関係施設・機関への協力要請
4 小学校教頭との連絡・調整

5 研究の成果

(2)実践「防災セミナー」の成果

① 全教職員参加型の外部講師による研修により、組織への所属感と安全確保への責任感を高めることができた。
② 「小中合同避難訓練」を見据えた研修を行ったことにより、自分事として捉える意識を高めることができた。
③ 危険箇所確認の演習を行ったことにより、安全を確保する視点を学び、責任感を高めることができた。

5 研究の成果

(2)実践「小中合同避難訓練」の成果

① 小学校と中学校合同訓練にすることにより、担当者及び全教職員の共助・協力・協働の意識を高めることができた。
② 実施計画に、役割分担を示さないことにより、事前に自ら確認したり、当日その場で判断したり、相談したりして行動することができた。その成功体験により、緊急時及び避難時などの対応に自信を高めることができた。

6 まとめ

危機管理意識を高め対応力を育成するための教頭の役割

1 担当者がやりがいと自信をもって事業を計画・運営するための支援

(1)担当者や外部組織・外部人材とをつなげる役割
つなげる
つなげる

(2)担当者と全教職員をつなげる役割

6 まとめ

危機管理意識を高め対応力を育成するための教頭の役割

2 全教職員の対応力の基盤を育成する役割

【責任感】 自分事として捉えさせる仕掛けづくり
【思いやり】 コミュニケーションを生む仕掛けづくり
【他者意識】 協力・協働する仕掛けづくり